

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【公表番号】特表2012-504183(P2012-504183A)

【公表日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2012-007

【出願番号】特願2011-529339(P2011-529339)

【国際特許分類】

C 08 J 5/24 (2006.01)

【F I】

C 08 J 5/24 C E R

C 08 J 5/24 C E Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月25日(2012.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

繊維強化プリプレグ樹脂層(26)の皺(24)を低減する方法であつて：

皺に振動を与えること

を含む方法。

【請求項2】

皺に振動を与えることは：

トランスデューサのヘッドを層と接触させ、トランスデューサのヘッド(28)を励起して振動させ、

皺の上でトランスデューサのヘッドを動かす

ことによって行われる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

トランスデューサのヘッドを励起して振動させることが、トランスデューサのヘッドを励起して高周波数で振動させることを含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

トランスデューサのヘッドを励起して、15000～70000Hzの周波数で振動させる、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

トランスデューサのヘッドを励起して振動させることが、トランスデューサのヘッドを励起して低振幅で振動させることを含む、請求項2に記載の方法。

【請求項6】

トランスデューサのヘッドを励起して、0.0005インチ(0.00127cm)～0.005インチ(0.0127cm)の振幅で振動させる、請求項4に記載の方法。

【請求項7】

トランスデューサのヘッドが皺の上を移動している間に、トランスデューサのヘッドを使用して皺に圧力を加えること

をさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項8】

保護シートをトランスデューサのヘッドと皺の間に配置することによって層を保護する

こと

をさらに含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 9】

皺の領域の層を加熱すること

をさらに含む、請求項 2 に記載の方法。